

令和4年度第6回庁議報告

開催日時 令和4年8月12日（金）午前9時30分～午前11時00分
開催場所 議事堂第1委員会室
出席者 市長、副市長、教育長、水道事業管理者、企画総務部長(併)選挙管理委員会事務局長、財政部長、市民生活部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、建設部長、都市部長、消防長、会計管理者、教育総務部長、生涯学習部長、議会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長

【付議事項】

決定事項

1. 担当部課による令和3年度施策・事務事業の事後評価における事務事業の改善策について

- ・企画総務部長より説明があった。
(質問等)

市長：市としてお休み処事業は廃止とするが、これを引き受けてきた湖北台地区社会福祉協議会が強化型きらめきデイサービスとして実施する場合は、湖北台地区社協の自主事業ということで支援していく方向である。ただ湖北台地区社協のメンバーも高齢の方が多く、どこまで実施できるか、人員を確保できるかどうかは次の大きな課題になってくる。自主事業であるため、収益を上げることも可能であり、地区社協の収入になるよう工夫していただければと思う。

提案のとおり決定した。

2. 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

- ・企画総務部長より説明があった。

(質問等)

市長：国家公務員に準じて各市町村の職員も同様に10年間で定年5歳、2年で1歳ずつ定年延長することとなった。議会で可決されれば、庁内報等を活用してQ&Aのような形式で、いろんな職員から質問を受け付ける形をとっていただき、職員への周知をしっかりと行ってほしい。

健康福祉部長：定員管理適正化計画との関係はどう捉えればよろしいか。

企画総務部長：定員の範囲の中には、定年延長による常勤職員は含まれるが、短時間勤務を選択された職員については定員外となる。現時点で、定年延長制度が適用となる方たちがどれぐらいの割合でどちらの勤務を選択するかということが見通せないため、定員管理適正化計画を1年延長している。今後、職員へのアンケートを行い、定年延長による常勤と短時間勤務の割合がある程度見えてきた段階で、定員管理適正化計画を定めていきたいと考えている。

市長：定員管理適正化計画を前面に押し出しすぎると、過去には一定期間職員採用、とりわけ女性職員の採用を抑制したことにより女性管理職の比率が伸び悩んだということもあった。そういった反省も踏まえて、国や県に出向している職員の人数も加味しながら、この10年間、採用がゼロということにならないような工夫が必要と考えている。当然、国家公務員、地方公務員、どの市町村も同じ条件だという共通認識を持っていただき、学校の先生は県の職員として、県条例を注視していただきたい。

提案のとおり決定した。

3. 我孫子市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・企画総務部長より説明があった。

(質問等)

市長：非常勤職員の育児休業の要件が緩和されることになる。人事課から庁内への周知は9月議会で可決されてからとのことだが、同じ部署で対象者が集中するようであれば、10月1日異動も含めて柔軟に対応したい。
提案のとおり決定した。

4. 我孫子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

・都市部長より説明があった。

(質問等) なし

提案のとおり決定した。

5. 我孫子市議会議員及び我孫子市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

・選挙管理委員会事務局長より説明があった。

(質問等) なし

提案のとおり決定した。

報告事項

1. 令和4年第3回我孫子市議会定例会提出予定議案

・企画総務部長より説明があった。

(質問等) なし

2. 我孫子市財務規則の一部を改正する規則の制定について（財政課分）

3. 我孫子市財務規則の一部を改正する規則の制定について（資産管理課分）

・財政部長より一括して説明があった。

(質問等)

市長：市政への手紙や、保育園等を利用している保護者からの声、さら

に保育園、学童保育室等の現場からも声が上がっていたことを受け、郵便局でも保育料の納付ができるようにした。それぞれの家庭でどこから納付するか選択してもらい、利便性が高まることを期待している。

4. 我孫子市社会福祉施設総合緊急対策支援金交付要綱の制定について

- ・健康福祉部長より説明があった。

(質問等)

市長：9月以降、国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が再度示されれば、追加で支援することを考えている。燃料費や食材費の高騰によって多くの事業者が影響を受けているため、公共的な役割を担っている事業所を支援対象として、国の動きを見ながら検討を続ける。

5. 我孫子市休診日外来診療等体制確保支援金交付要綱の制定について

- ・健康福祉部長より説明があった。

(質問等)

市長：昨年同様、お盆期間中に医療体制を整えてくれる病院を支援する。積極的に患者を受け入れている医療機関でクラスターが発生するという、非常に申し訳ない状況が続いていたが、だからこそそういった医療機関に支援をしながら、他の病院の体制整備にも繋がることを期待している。コロナ対応だけでなく、今の時期は熱中症も多数発生している。年末年始も、コロナの状況が落ち着かなければ同じような体制をとる必要があると予想している。どの病院が開いているのか、ホームページで公表をお願いします。

6. 我孫子市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者補助金交付要綱及び我孫子市私立幼稚園等補助金交付要綱の一部改正について

- ・子ども部長より説明があった。

(質問等)

市長：6月補正で私立の保育園と幼稚園、小中学校の給食費について財源を確保し、給食費の値上げにならないよう対応しており、公立保育園については9月補正で対応していく。国から追加の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が示されれば、市としてもさらなる対応を検討する予定だが、現状では、今年度中は給食費の値上げを防げるものと見通している。食材あるいは燃料費がさらに高騰し続けるとなると、次の支援を検討しなければならないと考えている。

【その他事項】

1. 第5次行政改革推進プラン（令和4年度～令和9年度）について

- ・企画総務部長より説明があった。

(質問等)

市長：DXを推進する一方で、建築から50年を超えそうな公共施設が特に学校に多くある。これをいかに更新していくか、建て替えるべき校舎と、大規模改修を行い、さらに2、30年使う校舎と分けながら、子どもの数に応じて検討する必要がある。学校の更新は卒業生や保護者の共通理解を得る必要があるため、丁寧に対応していきたいと考えているが、老朽化しているのが事実。子どもたち全員が、自分の夢や希望を実現できるような学校体制を整備する必要がある。万が一にも、地震あるいは災害で亡くなる子どもが一人もいないように、学校現場と一緒にしながら子どもたちの安全を最優先に対応を検討していければと思っている。検討が本格的になってくると、クリーンセンターのようにプロジェクトチームを作ることも考えなければならないので、今の都市部と

建設部を維持するだけでなく、学校現場に技師を送り込むという前提での職員採用、配置もこれから少しずつ検討をお願いします。

—以上—